

# 京都SDGsパートナー登録証



株式会社島津製作所は、  
SDGs、CO<sub>2</sub>ゼロに  
取り組むことを宣言します。

## ●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

社是・経営理念のもと制定した「島津グループサステナビリティ憲章」に基づき、地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造することを目指す。

## ●SDGsに関する重点的な取組●

環境問題の解決を通じた事業活動と企業価値の拡大を目指している。特に、グローバルベースでの環境負荷の低減を強化しており、環境配慮製品の拡販によるCO<sub>2</sub>排出抑制貢献量（顧客の製品使用時に発生するCO<sub>2</sub>排出量の抑制量）を拡大すると共に、島津グループの事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減を進めている。

「人の健康」、「安心・安全な社会」、「産業の発展」を支える領域において、複雑化・多様化する社会課題に柔軟かつ真摯に向き合い、高い技術力をもって解決を図ろうとしている。また、多様な従業員が生き生きと活躍できる職場づくりを目指した健康経営、ダイバーシティ経営、働き方改革を推進している。

中期経営計画で「世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業」として、島津の製品・サービスを活用した社会課題解決のための仕組み作りと社会実装を推進している。事業活動を通じた新市場の創出でさらなる成長を図り、2022年度の業績計画として、売上高4,550億円、営業利益680億円を目指している。

## ●文化や地域活動に関する重点的な取組●

地域社会と協調・融和する活動として、ぶんせき体験スクールや(公財)島津科学技術振興財団による“島津賞”の贈呈などの「科学技術の発展・次世代育成」、災害被災地への支援活動などをはじめとした「社会福祉の推進」、テニスの振興などを通じた「文化・芸術・スポーツ支援」などの取組を行っている。

2022年10月31日  
(登録番号:00128)

株式会社島津製作所  
代表取締役社長 山本靖則



京都市長  
門川 大作

